

平成 28 年 10 月 8 日

レディース委員会

尾形 依子

希望郷いわて国体セーリング競技チャイルドルーム報告書

実 施 日 : 平成 28 年 10 月 1 日 (金) ～ 10 月 5 日 (水)

利 用 時 間 : 9:00 ～ 16:30

※5 日 09:00～16:00

実 施 場 所 : リアスハーバー宮古 (仮設ユニットハウス内)

主旨 : 大会期間中、乳幼児を帯同して大会に参加する選手や役員、観覧者の為に環境を整え便宜を図る事により、選手は同じ条件でレースに参加する事が出来、役員や観戦者においては負担を軽減する事が出来る。

使用目的 : ①乳幼児の食事及び授乳
②乳幼児の着替え、おむつ取替え
③乳幼児の就寝(仮眠)
④乳幼児の休憩

使用条件 : ①大会に参加する選手・大会役員・大会関係者・大会観覧者
②競技開催期間中
③年齢/ 0 歳～ 6 歳程度
④保護者同伴、もしくは保育士・サポーターが常駐しているので
乳幼児のみの利用も可とする

使用手続き : ①施設利用の概要を説明し、同意を頂く
②使用手続き申込書に必要事項を記入 (入室時に検温、健康状態を確認する)

保 険 : チャイルドルーム内の事故に対し、レディース委員会で保険に加入、
チャイルドルーム利用者の安全を確保する

担 当 者 : レディース委員会 3 名
岩手県連サポーター 2 名 (内 1 名は幼稚園教諭免許有)
保育士 1 名
高校生ボランティア 2 名 (1 日)

利用者状況 :

利用者数		10 月 1 日	10 月 2 日	10 月 3 日	10 月 4 日	10 月 5 日	合 計
延べ利用者数		1	28	9	15	3	56
実人数		1	16	6	13	3	39
内訳	大会関係者	1	13	5	12	3	34
	一般観覧者	0	3	1	3	0	7

利用者の声

- ・こういう施設があることを初めて知りました。ほかの競技会場にはチャイルドルームが無く、利用してしみてとても良かった。
- ・前日に利用している地域のニコニコ保育の保育士さんがいて安心して預け観戦を楽しむことができました。
- ・会場内にベビーシート付トイレがなく、短時間でも預かってくれて、助かりました。
- ・利用時間が朝 9 時からで助かりました。
- ・午後 4 時 30 分まで預かってもらう事ができて良かった。
- ・応援に来て良かったと思う。子供と一緒に休む場所があるのは有難い。
- ・子供を見てくれる大人がたくさんいて安心。
- ・チャイルドルームでお友達ができ、子供も楽しみにしており、安心して毎日利用させてもらった。

考察と課題

- ◎開催中、事故なく無事に終了出来た。
- ◎会場の中央にチャイルドルームを設置していただき、室内の状況が見えやすく、子連れ以外の一般観覧者の方や各県に視察員から質問され、多くの方に認識いただけた。
- ◎トイレが近くにあり、良かった。
- ◎仮設ユニット中央で暑い日は換気のみでは対応しきれず、扇風機を設置してくれ、環境整備にも迅速に対応いただいた。
- ◎水道が近くにあり、チャイルドルーム前が水浸しになることもあった。
- ◎新聞でチャイルドルームを紹介してもらい、記事の内容に高校生ボランティアの意気込みや感想も載せていただき、一般の方への呼びかけとしても興味を持ってもらえる内容で伝えていただけた。
- ◎岩手県国体実行委員会の方が見学・応援に来た児童の団体にもチャイルドルームを説明してくれ児童を通じ幅広い周知に繋がった。
- ◎幅広い年齢層も退屈することなく玩具で充分対応出来た。
- ◎前回同様、名札を養生テープに名前を書いて子供の背中に貼った。自然に剥がれにくく、剥がす際は容易に剥がれ衣服も傷まない。数日間再利用も可能。
- ◎前回同様、単体・複数荷物もビニール袋に入れて、養生テープに名前を記入し貼付、

することで、荷物を間違たり忘れ物もなかった。養生テープを剥がすと、ビニール袋は再利用可能である。

◎遊具の滑り台着地点にタオルで高さを調整したことにより、子供の年齢に応じより安全に利用できた。

◎小さな子供が泣きやまなかった際、おんぶ紐（スタッフ私物）が活躍した

◎岩手国体は大会関係者の利用が多いということだったが、保育園利用が一般化している現在、地元の方は慣れている普段通園している保育園等を利用し、チャイルドルームの利用は少なく、運営に専念していた。

◎地元女子高校生ボランティアも常時2名、2日間、3日間と連続で同じ人が来てくれ日々慣れてよりよいサポートをしてくれたので、積極的な対応が望める場合は、女子高校生ボランティアも連日対応体制が有効である。

今後の対策

●おんぶ紐を今後準備する。

○チャイルドルームは目立つ場所・会場中央に設置して頂けると多くの方にも認知され、利用者が利用しやすく良い。

○開催地の状況（時期・ニーズ）に応じ部屋の広さ、空調を考慮頂きたい。

○県や地元の広報・マスコミを通じてチャイルドルームの宣伝は継続をお願いしたい。（無料で利用できる旨の周知は継続する。）

地元スタッフがヨット部OG兼保育士、ヨット部OG兼実際預かる対象年齢の子育て中で、子供の接し方も、ヨットの事もわかっての支援で地の利を生かし臨機応変に適宜対応をしてくれ、安全で安心感のあるチャイルドルームとなりました。

チャイルドルームの設置によって、安心して選手や選手の家族、大会関係者、大会観覧者の皆様が喜んで下さるように、今後もレディース委員会は努力邁進致します。

本大会関係各位、岩手県連の方々のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

以上